

## ■ 県内分布

強い波浪を受ける海岸には比較的ふつうにみられる。

## ■ 国内分布

北海道南部、本州太平洋岸、四国、九州、本州日本海岸中南部、南西諸島

## ■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	

## ■ 特記事項

岩礁帯藻場の生態学的重要種。

## ■ 保護上の留意点

群落の維持に努めるよう配慮する必要がある。

## ■ 種の概要

体は基部から繊維状の付着根を出して基物の上をひろがり、直立する茎は円柱状で短く、その頂部から少数の主枝を生ずる。主枝は円柱形で直径3-4mmあり、大きいもので長さ1m近くにもなり、5-10cmの側枝を羽状に互生する。主枝の下部の葉は扁円から扁圧多肉質であり、狭い楔形で下部は円柱状の柄状となり、上部は広く縁辺に粗い鋸歯を持つ。上部の葉は円柱状で両端が細くなり、上部が扁圧して縁辺に鋸歯を持つものもある。気胞は葉の腋に生じて紡錘形で葉よりも短い。側枝も腋生し、主枝よりも短く、葉をつける。色は黄褐色で質は多肉であり、乾燥すると黒くなり、紙にあまり付着しない。雌雄異株。



写真提供：川井浩史